

【小施策評価(平成30年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	国際リニアコライダー推進事務局	
施策	28	国際化の推進	評価 責任者	岡市 和敏	内線 3801
小施策	28-2	国際都市づくりの推進	評価 シート 作成者	阿部 牧子	内線 3869

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
新しい在留管理制度の導入や外国人登録制度の廃止、住民基本台帳法の改正など、外国人を一時的な滞在者としてではなく、生活者として受け入れていくための仕組みが整ってきている中で、外国人の住民が地域社会で生活する上で必要となる環境整備を充実させる必要がある。また、国際リニアコライダーの誘致実現を目指し、市民の理解を深めるとともに、関係機関と連携した取組を進める必要がある。	外国人が地域社会の一員として安心して生活できる環境づくりを目指し、生活支援など、必要なサポートの充実に努める。また、観光やビジネスで訪れた外国人が、新たな盛岡ファンの形成へとつながるよう、盛岡の魅力にふれながら快適に滞在できる環境づくりを進める。関係機関と連携しながら国際リニアコライダーの誘致実現を目指した活動を進める。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
市民	国際リニアコライダーの誘致に向けた機運が醸成される。
企業	国際リニアコライダーの誘致に向けた機運が醸成される。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価		今後の方向性(令和元年度以降)
指標①	単 位	目指す方向	成果点	成果の要因分析		
まちづくり評価アンケート調査「国際リニアコライダーを知っている」と答えた市民の割合	%	↗				評価を踏まえた取組の方向性 ★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討 ★ 年度当初に学校と講師の日程調整を行い、小学校での出前授業を実施するほか、市民の機運醸成に向けた取組をより一層推進する。 ★ 誘致実現に向けて、引き続き、県、関係市町が一丸となって周知活動を進める。 ☆1 誘致が決定した場合は、外国人の受け入れ環境の整備を重点的に進めていく。
当初値 (H25)	-	R1目標値	60.0	R6目標値	80.0	
			・まちづくり評価アンケート調査「国際リニアコライダーを知っている」と答えた市民の割合が増加した。 ・小学校での出前講座や、高校での科学技術講座を開催できた。	・市主催のILC講座や、民間団体におけるPRイベントなどの開催のほか、政府の誘致判断に向けてマスコミ報道が継続的にされたことから、認知度は徐々に増加していると思われる。 ・教育委員会や学校との連携が進んだ。		
			問題点	問題の要因分析		
			・国際リニアコライダーを知っていると答えた市民の割合は若干増加しているが、目標値を大きく下回っている。	・出前講座や科学技術講座の開催及び誘致に向けた署名やILCサポーターズ登録の呼びかけに加え、民間団体におけるPRイベント、週刊誌での連載やマスコミ報道等により市民への周知が図られているが、認知度の劇的な向上に至っていない。		